

福島県 飯舘村

(基本方針)

インフラ（道路、水道、集落排水等）については、避難するまでの間に応急的に復旧し、一時帰宅等で必要な最低限の生活基盤は整っている状況にあるが、将来の帰村に対応するには不十分な状況にあることから、村の復興に必要な社会基盤の整備を計画的に推進する。なお、施設再開後の維持管理を視点に含めて復旧するとともに、復旧工事に際しては、放射能に汚染された表土やガラ等の処分について解決することが必須である。

1. 河川

河川については、地震による詳細な被害の把握ができていない。

今後、周辺の除染作業の工程に合わせ、線量の減衰を見極めながら現地調査を行い、被害があれば復旧していく。(普通河川：村、二級河川：県)

2. 上水道

上水道については、施設は支障なく稼動し、水質検査等に異常もなく、平成25年度までに漏水調査を実施し、復旧したが、宅内における冬季の凍結漏水が散見されることから、有効な対策を検討の上、実施する。

3. 下水道（農業集落排水）

下水道（農業集落排水）については、避難前にマンホールの段差や管路上部の路面の陥没等の応急復旧を行っている。2箇所の排水処理施設は稼動しており、必要な最低限の機能は確保している。

村民の一時帰宅への対応は確保しているが、全村避難により排水の使用頻度が少なく極端に汚泥量が少ない状況にあるため微生物の死滅が懸念される。

村民の一時帰宅及び将来の帰村に向け、本格的な管路調査、設計を行い、計画的に復旧を進める。

4. 道路

【村管理道路】

村管理道路については、避難前に仮復旧を行っており最低限の機能は確保している。村民の一時帰宅及び将来の帰村に向け、仮復旧箇所や通行止め箇所について復旧を計画的に進める。

村道大火比曾線及び岩部線は、平成26年度に調査・設計を実施し、平成27年度の復旧を目指す。

村道小滝大倉線は、平成26年度後半に調査・設計を実施し、平成27年度に山の覆土工事、平成28年度に災害防除工事を予定する。

村道小宮風兼線及び八和木荒屋敷線は、平成26年度以降の復旧を目指す。

村道佐須久保田線は、平成26年度に設計を実施し、平成27年度の復旧を目指す。

5. 農業用施設

農業用施設については、地震による被害について、ため池の調査を行い、一部仮復旧したところである。

将来の営農再開に向け、放射性物質拡散防止対策を実施するとともに、土砂流失防止対策及び排水対策を実施する。

6. 文教施設・村有施設

文教施設・村有施設については、震災後、目視による調査により被害状況を把握しており、一部復旧をした箇所や施設はあるものの、全てが復旧した状況ではなく、地震による影響で雨漏りをしている施設もある。

草野小学校については、大規模改修を計画しており、実施設計まで完了しているが、震災による状況を踏まえ、平成27年度以降、計画を見直し、改修を進める。

飯舘村生活改善センターについては、地震による影響を受けたため、平成25年度に解体に着手した。平成26年度に引き続き解体し、その後、設計・建築を進める。

村民の将来の帰村に向け、その他の施設についても、調査・設計を行い、計画的に復旧を進める。

7. 公営・村営住宅

公営・村営住宅については、震災後、目視による調査により被害状況は把握しており、一部復旧した箇所や施設はあるものの、全てが復旧した状況にはない。

村民の将来の帰村に向け、住宅政策は重要な位置付けとなることから、被災した住宅を含めて住宅政策を再構築する。

老朽化した公営住宅は避難により管理できない状況にあるため用途廃止し、草野地区大谷地住宅等を建て替え、村内復興住宅として整備する。

また、高線量地域の村民等を対象として、村内の低線量地域に「復興のための村内拠点」として、災害公営住宅を整備する。

8. 除染

平成24年5月に策定された「特別地域内除染実施計画（飯舘村）」（平成25年12月改定）に基づき、事業を実施。平成28年内に完了予定。

（参考）

＜特別地域内除染実施計画（飯舘村）＞

http://www.env.go.jp/jishin/rmp/attach/josen-area_p-iidate.pdf

9. 災害廃棄物等処理（対策地域内廃棄物処理）

① 災害廃棄物等発生状況

- ・ これまでの現地踏査により被災家屋等の状況を確認。
- ・ 要解体家屋の解体に伴い、災害廃棄物が発生する見込み。

② 事業実施予定

- ・ 住民の帰還の妨げとなる廃棄物について仮置場へ搬入することを優先目標として、着実に対策地域内廃棄物を処理する。

※地権者及び周辺住民のご理解とご協力が必須となる。

③ 平成25年度の成果

- ・ 仮置場1か所について工事準備を継続。
- ・ 被災家屋等（1件）の解体撤去工事準備を継続。
- ・ 小宮地区における仮設焼却施設の設置について建設工事に着手。
- ・ 蕨平地区における可燃性廃棄物減容化事業の実施に関して、仮設焼却施設の建設準備を継続。

④ 平成26年度の成果目標

- ・ 仮置場について造成工事を進め、帰還の妨げとなる廃棄物の撤去及び仮置場への搬入を実施。
- ・ 小宮仮設焼却施設の建設工事完了後、処理を開始。
- ・ 蕨平可燃性廃棄物減容化事業について、平成26年度に建設工事に着手。

インフラ復旧の工程表（飯館村）

●→ 工程が見込めるもの ●……→ 工程が現時点で見込みにくいもの

平成26年4月末現在

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成果)	H26年度に実施すること(目標)	平成26年度				平成27年度				平成28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
河川																		
村内の河川	村・県	地震による詳細な被害の把握ができていない。	一部調査実施	調査実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	現地調査を行い、被害があれば復旧計画を策定していく。
上水道																		
本管・給水管	村	漏水調査を実施し、復旧。 管路布設延長=90km	調査・復旧	復旧済														
下水道																		
農業集落排水 (草野地区)	村	管路及びマンホール布設部の路面沈下 管路布設延長=10km	調査実施	復旧に向けての準備					●	●	●	●	●	●	●	●	●	避難をする前にマンホールの段差や管路上部の路面の陥没などは応急復旧を行っている。施設は稼働しており、必要な最低限の機能は確保している。
農業集落排水 (飯櫃地区)	村	管路及びマンホール布設部の路面沈下 管路布設延長=5km	調査実施	復旧に向けての準備					●	●	●	●	●	●	●	●	●	避難をする前にマンホールの段差や管路上部の路面の陥没などは応急復旧を行っている。施設は稼働しており、必要な最低限の機能は確保している。
道路																		
村道 大火比曾線	村	法面崩落、仮復旧 1カ所 L=29m	仮復旧のため定期パトロール	調査・設計	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
村道 岩部線	村	法面崩落、仮復旧 2カ所 L=47m (1工区L=27m、2工区L=20m)			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
村道 小滝大倉線	村	落石 通行止め	未調査	調査・設計	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
村道 小宮風兼線	村	落石 通行止め 2カ所 L=350m (1工区 L=200m、2工区 L=150m)	調査・設計	災害防除工事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
村道 佐須久保田線	村	農地法面崩落 通行止め L=40m	調査実施	設計実施	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	う回路あり
村道 八和木荒屋敷線	村	農地法面崩落の危険性 通行止め L=50m	調査・設計	復旧工事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	う回路あり

●→ 工程が見込めるもの ●……→ 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成基)	H26年度に実施すること(目標)	平成26年度				平成27年度				平成28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
農地・農業用施設																		
田・水路	村	田 崩落2カ所、 水路 柵きょ倒れ1カ所	被災拡大防止対策実施	被災拡大防止対策実施														当面最低限の被災拡大防止対策を行う。
ため池	村	堤体崩落(中迫ため池、大火ため池) 堤体亀裂(堂の入ため池、大宮ため池) 堤体漏水(八木沢ため池)	被災拡大防止対策実施	被災拡大防止対策実施														当面最低限の被災拡大防止対策を行う。
農道 野手神線	調整中	橋梁部の段差及び橋梁下部のブロック倒れ																

●→ 工程が見込めるもの ●.....→ 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成否)	H26年度に実施すること(目標)	平成26年度				平成27年度				平成28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
文教施設・その他村営施設																		
相馬農業高等学校 飯館校	県	ボイラー配管損傷 体育館の窓枠歪み 和室棟屋根瓦破損 等	未調査	未調査														
飯樋小学校 プール	村	プール際亀裂 地盤崩落、プール傾斜	未調査	未調査														
飯樋小学校 進入路	村	進入路L型擁壁亀裂・傾斜	未調査	未調査														
飯樋小学校 体育館	村	体育館屋根下地板落下 雨漏りあり	未調査	未調査														
草野小学校 校舎	村	大規模改修を実施する予定であり、震災前に基本設計が完了済み	未調査	未調査														
草野小学校 体育館	村	体育館西側外壁破損 壁ALC板にクラックが入り一部外壁が欠落 落下の危険性あり	未調査	未調査														
飯館中学校 設備	村	【復旧済】 時計破損 外壁の歪から突風で一部外壁が落下 多目的集会所、廊下に雨漏りあり	復旧済	復旧済														
飯館中学校 体育館	村	【復旧済】 体育館天井落下	復旧済	復旧済														
生活改善センター	村	地盤沈下、床面傾斜、構造各部にひび割れ	解体実施	解体・設計・改築														
柔剣道場	村	天井板落下、ガラス破損	調査実施	解体実施														
ふれあい交流館 たてやま	村	サッシ枠、床等の歪み	未調査	未調査														
大会体育館	村	【復旧済】 窓枠歪み、雨漏りあり	調査・設計・復旧	復旧済														
スポーツ公園 管理棟	村	地盤沈下、擁壁の倒れによる建物自体の傾斜	未調査	未調査														
野球場	村	バックネット裏応援席にコンクリートの亀裂 大、破損 L型擁壁傾斜	未調査	未調査														
陸上競技場 クラブハウス	村	不等沈下による階段部コンクリートに亀裂	未調査	未調査														
宿泊体験館きこり	村	壁天井、設備に被害 修復するも余震で再被害があり再修復	未調査	未調査														

●→ 工程が見込めるもの ●.....→ 工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H25年度に実施したこと(成基)	H26年度に実施すること(目標)	平成26年度				平成27年度				平成28年度				H29年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
住宅																		
公営大森住宅	村	建物全体として中央部が下がっている状況となっている。	未調査	未調査														
村営飯樋住宅2棟	村	法面側で不均一に地盤沈下、基礎に亀裂	未調査	未調査														
除染																		
先行除染	国	実施済み	事業の実施	—														草野東工区、継続事業所等
特別地域内計画	国	・平成24年5月 特別地域内除染実施計画策定 ・平成25年12月 特別地域内除染実施計画改定	計画の改定及び事業の実施	事業の実施														平成28年度内に計画に基づく事業を終了予定
仮置場	国	確保中	選定作業及び確保	選定作業及び確保														
災害廃棄物等処理																		
対策地域内廃棄物処理	国	災害廃棄物等推定量：4万2千t (帰還困難区域を含まない)	・仮置場1か所について工事準備を継続 ・小宮地区における仮設焼却施設の設置について建設工事に着手等	・仮置場について造成工事を進め、掃選の妨げとなる廃棄物の撤去及び仮置場への搬入を実施 ・小宮仮設焼却施設の建設工事完了後、運営を開始 ・蔵平可燃性廃棄物減容化事業について、今年度中に建設工事に着手等														

※本工程表に記載の内容については軽微な修正を行う場合があります。